

人 AEL ENJOY LIVE～ふれ愛 FES2022～ 、音楽、いのちとふれ愛の場



1～4さまざまなジャンルのミュージシャンが会場を盛り上げる 5鏡に水性マーカーを使って作品を描くJIROさん 6ゼウス君とふれあう親子

5月8日、菊川文化会館アエルふれあい広場で「AEL ENJOY LIVE」が開催されました。市内外からおよそ1,000人が訪れ、ライブを楽しみました。

県内を中心に各地で活躍している幅広いジャンルのミュージシャン11組が出演。来場者は、手拍子をしたり、演奏に聞き入ったりと、青空の下で盛り上がりました。(写真1～4)また、画家JIROさんがライブペインティングを行い、巨大な鏡に即興で絵を描いていくと、次々と変化していく作品に、来場者の目は釘付けになっていました。(写真5)

館内では、盲導犬ゼウス君の絵本よみ語りとふれあいタイム(写真6)や、動物ボランティア「NPO法人その小さいのち守りたいプロジェクト」によるワンちゃん譲渡会が行われました。

安 小笠東小学校交通教室 安全に登下校するためのポイント

5月2日、小笠東小学校で交通教室が行われました。命の大切さと安全に登下校するための技能を身に付けることを目的に全校児童を対象に実施しているもので、2学年ごとに分かれて、交通安全指導員から交通ルールや気を付けるポイントを学びました。

3・4年生児童76人は、自転車に乗るときの交通ルールを学習。指導員が自転車で道路を走る際の注意事項を、ボードにイラストを貼って説明すると、児童たちは真剣な表情で聞いていました。



1自転車に乗るときの交通ルールを説明 2自転車に乗って実演

先 鹿児島県西之表市長が表敬訪問 人が結んだお茶の縁

4月25日、鹿児島県西之表市の八板俊輔市長が、長谷川寛彦市長を表敬訪問しました。同市との縁は、明治16年に城東郡棚草村(現菊川市棚草)の牧野篤好あつよしが、官命を受けて同島に来島したことが始まりです。牧野篤好は、初代熊毛郡長として島の勸業奨学に努め、島民からもとても信頼されたと伝わります。

同市では現在、市史を編纂中で、牧野篤好に関する資料を子孫から譲り受けたことを報告するため訪問。両市の茶業などについて意見交換をしました。



▲牧野篤好の肖像画を囲む八板市長(左)と長谷川市長



▲種子島の北部に位置し、豊かな自然と受け継がれる伝統が魅力の西之表市のホームページはこちら